

ちょこつとマーケット

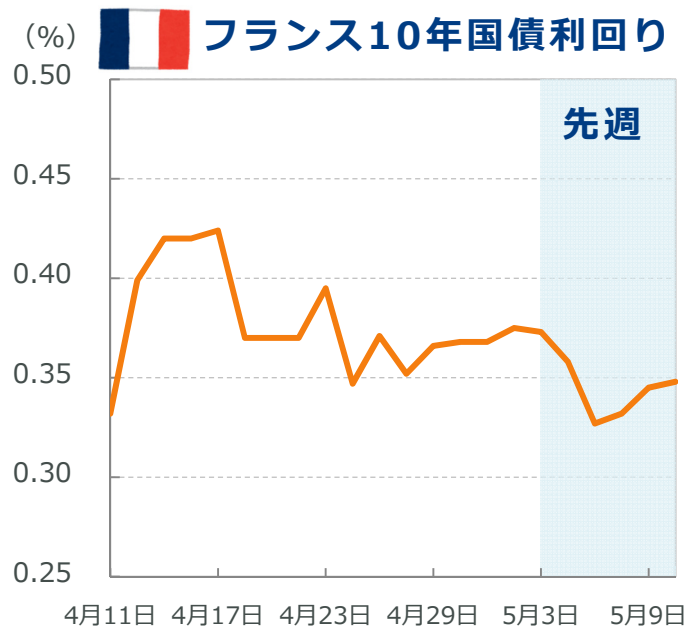
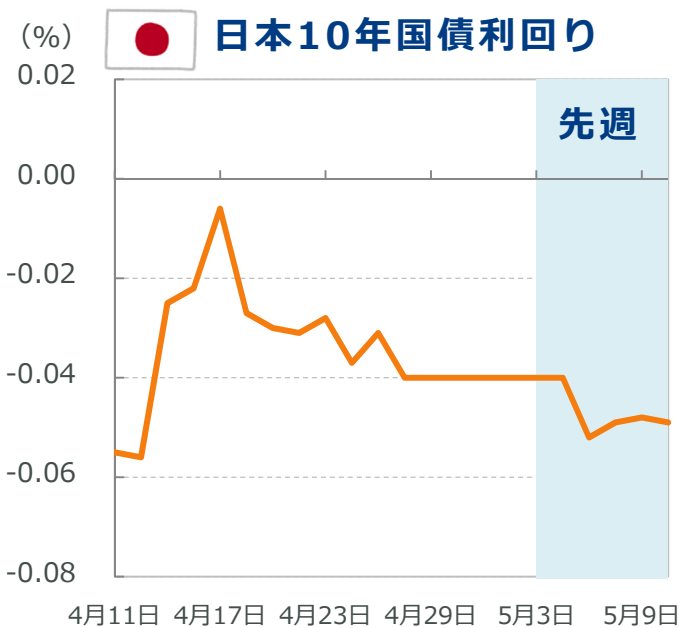
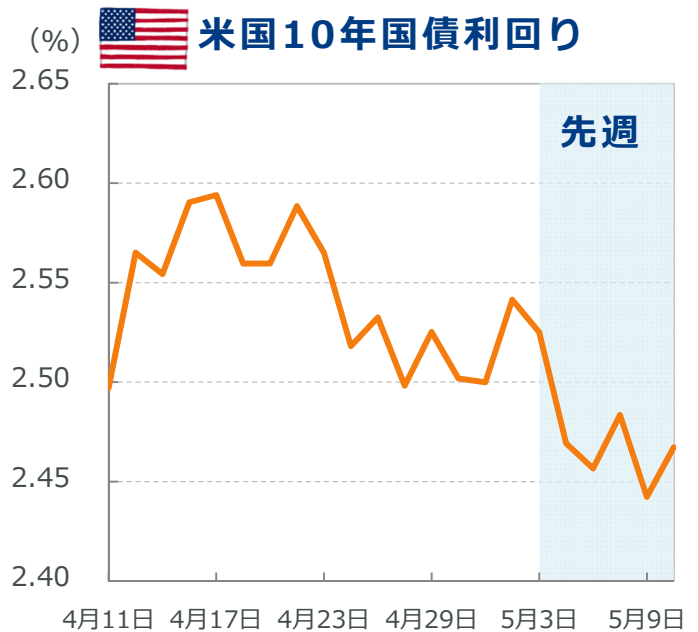
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2019年5月6日～2019年5月10日】

国債買われ利回りは低下

- ◆ トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明したことや、中国が予定されている米中協議の中止を検討しているとの報道を受けて投資家がリスク回避姿勢を強め、株が売られる展開となりました。
- ◆ そのような中、相対的に安全資産とされる国債を逃避的に買う動きが広がり、米国国債利回りは一時、長期債が短期債を下回る逆イールドとなりました。



(注1) データは2019年4月11日から2019年5月10日(日次)。

(注2) 2019年4月29日～2019年5月6日の日本の債券市場はゴールデンウィークのため休場。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

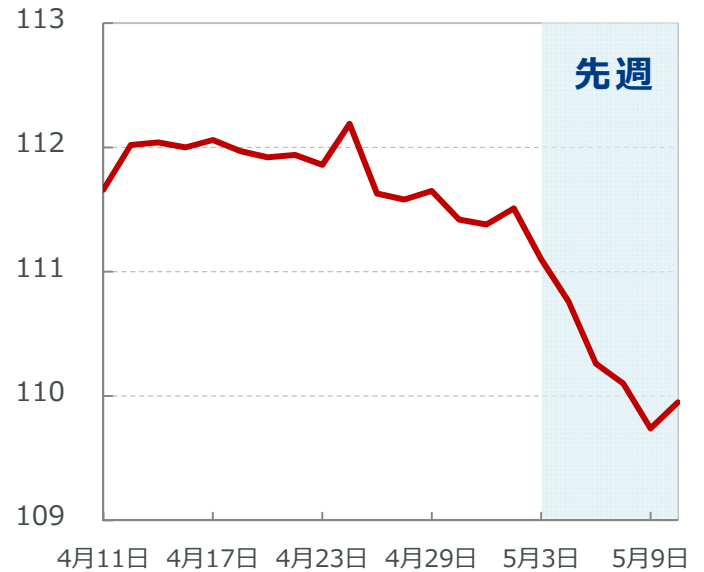
POINT  **為替**

【2019年5月6日～2019年5月10日】

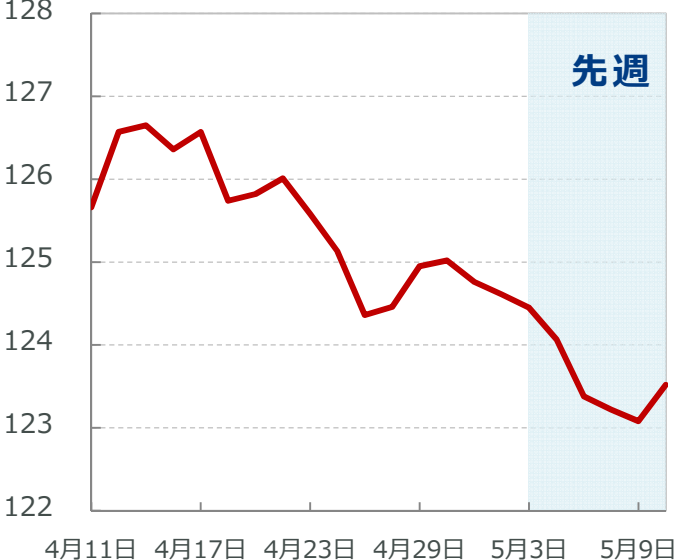
リスク回避の円買いが進む

- ◆米中貿易摩擦激化への懸念から、リスク回避的な取引の拡大にともなう円買いや米国長期金利低下を背景とする米ドルの売りが進みました。
- ◆9日の米中閣僚級協議初日の終了後は、両閣僚やトランプ大統領が「協議は建設的だった」と伝えたことを受けて、協議継続への期待が高まり、米ドルが買い戻される動きも見られました。

(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



(注) データは2019年4月11日から2019年5月10日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。